

## 調査等事項報告（団体名：改革クラブ）

視察先	栃木県塩谷郡塩谷町 星ふる学校 くまの木
視察日時	平成 31 年 2 月 7 日（木）13 時 30 分～15 時 30 分まで
視察項目	廃校利用について
視察者	結城 正、犬飼 司、菊池貞好
内 容	<p>塩谷町立熊ノ木小学校は平成 11 年 3 月に廃校になりました。平成 11 年当時は、塩谷町には 11 の小学校と 3 校の中学校が存在しておりましたが、統廃合により最初の廃校となりました。地域のシンボルでもあった学校が廃校になり、寂しさや過疎化への不安もあり、住民の要望で校舎は残してほしいとの声を考慮して、校舎の利活用に当たっては地域の振興を図るため、地元の住民と協議することを町が約束し、地域の人々は自らに課題として捉え立ち上がった。開設までは 70～80 回の話し合いを重ねて平成 14 年 4 月に星ふる学校くまの木としてオープンしている。自然豊かな中に施設があり、星がよく見える場所という地域の特色を生かした施設であり、新たに設置した天体ドームが特徴的である。宿泊型体験学習施設として農林業・自然観察・伝統工芸・文化・郷土料理体験等をテーマに県内外から利用者がいます。</p> <p>宿泊施設と共に、一度に 60 人位入れる食堂があり、出来るだけ塩谷町産、栃木県産の食材を使用することとしている。季節ごとの健康的な田舎料理を提供している。調理の体験プログラムや自炊での宿泊などの際に、30 人程度利用できる体験室、また男女 1 名利用できるお風呂場などがある。そば打ち、うどん打ちも希望で行っている。季節限定で鮎のつかみ取り、味噌作りなども開催している。</p> <p>星ふる学校くまの木はやすらぎと体験・交流の場所であり、懐かしい木造校舎に泊まり誰にも気兼ねせず、ゆっくりした時間を過ごしてもらいたいということがコンセプトである。この施設の特徴は責任者始め 4 人が常駐しているということである。</p>

視察先	茨城県守谷市 もりや学びの里
視察日時	平成 31 年 2 月 8 日（金）10 時～11 時 30 分まで
視察項目	廃校利用について
内 容	<p>大井沢小学校が平成 6 年度において 7 学級、児童数が 192 人に減少する中、隣接学区に分離新設校が開設され、大井沢小学校が統合され、平成 7 年に廃校になった。検討委員会によって住民ニーズを十分把握した上で施設内容を計画したため住民ニーズに合致した施設になっている。跡地利用について市民アンケートにより、市民が世代を超えて利用出来るコミュニティゾーンを確立するという目的で、芸術性の高揚という観点から「アークス構想」に賛同した。新しい芸術を「創る」「育てる」活動を核に、個性的で魅力ある地域づくりを図ることを目的として、平成 7 年度から始まった茨城県事業である。国外から若手現代アーティスト 3 名を守谷市に招聘し、もりやまなびの里をスタジオとして創作・試行活動を支援している。同時にアーティスト同志のコラボレーションや地域との交流機会を提供している。地元の子供たちとの交流会のおかげで英検の合格率が格段に上がったということである。バーベキュー施設、運動広場、体育館等の施設を備えていることで、青少年関係や地域グループの親睦会、レクリエーション等の多様な利用ができる。</p> <p>施設の改修工事費は 1 億 6600 万円で、運営維持管理費は 1200 万円である。課題と今後の方向性は施設の老朽化による補修費などの増加による維持管理費の増加がある。将来的には指定管理者制度導入の検討もしている。</p>